



株主のみなさまへ

第54期 営業のご報告

2014年4月1日~2015年3月31日



- 1 会社紹介
- 2 社長メッセージ
- 5 財務ハイライト
- 6 事業別のご報告
- 7 特集:WHOLEGARMENT®
20年の到達点とこれから
- 11 トピックス
- 13 製品紹介
- 14 アンケート結果
- 15 連結財務諸表
- 17 会社概要
- 18 株式概要

「SDS®-ONE APEX3」による
バーチャルサンプル

株式会社島精機製作所

証券コード: 6222



Ever Onward — 限りなき前進

「世界初」へのチャレンジの歴史が、
「Ever Onward」の経営理念に結びついています。

当社の歩みは、現社長・島正博が「手袋編機の全自動化」という難課題を掲げて、1962年に当社を設立したことに始まります。そのひたむきな情熱と豊かな発想は、1964年末に世界初の全自動手袋編機として結実しました。技術にこだわり「最高機能の製品を経済的な価格でお届けする」という当社の企業スピリットは、創業から半世紀以上たった今でも生き続けています。

早くから総合メカトロニクス企業を目指してきた当社は、1970年代後半に高機能ながら価格を抑えた独自の「コンピュータ横編機」を開発。80年代には、デザインシステムなどソフト面の開発を強化することで先発の海外メーカーを凌駕、創業20余年にして世界のトップランナーへと躍り出ま

した。さらに90年代には、世界初となる完全無縫製型の「ホールガーメント®横編機」を開発。「産業革命に匹敵する」と評されるほどのインパクトを世界のニット業界にもたらしました。

その後も多様化するニーズに応え、品質と生産性を大幅に向上させた新機種を次々と開発。「シマセイキ」ブランドは、先進国から新興国まで世界中のユーザーに広く受け入れられるようになりました。

経営理念である「Ever Onward」のもと、今後も革新的な技術開発を進めながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業のみならずさまざまな業界の発展に寄与するとともに、創造力を発揮して優れた製品の開発に尽力していきます。

事業紹介



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント横編機、ループプレッサーを備えたSRV®、充実した編成を可能にするSVR®、コストパフォーマンスに優れたSSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップで進化し続けています。



デザインシステム関連事業

アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機P-CAM®シリーズによる異業種への展開も積極的に進めています。



手袋靴下編機事業

当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化などの高度技術を応用し、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。



その他事業

当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。



代表取締役社長
島 正博

社長メッセージ

当社本来の高い競争力で2期連続の増収を達成。
この勢いを持続し、さらなる成長を目指します。

Q 当期(2015年3月期)の市況と業績について説明してください。

A 当社の「強み」を発揮し、売上高・営業利益ともに大きく増加しました。

当期は、コアビジネスである横編機事業の販売がアジア地域を中心に大きく拡大し、その他の地域や国内でも総じて好調に販売を伸ばした結果、連結売上高は483億54百万円(前期比19.0%増)と、前年度に続いて増収を達成しました。営業利益は、増収効果に加えて円安による販売単価の上昇や増産によるコスト低減もあり、前年の2倍以上の

57億45百万円(同110.3%増)となり、経常利益は為替差益が営業外で発生したことで84億70百万円(同15.2%増)の大幅な増加となりました。一方、当期純利益は、インドネシア顧客の経営破綻による貸倒引当金繰入額を特別損失として計上したことで、前期を下回る36億45百万円(同25.0%減)となりました。

当期は営業利益の増加が示すように、市場が活発化するなか、高品質・高機能の製品、きめ細かなサービス体制など、当社が持つ本来の高い競争力が各地域で発揮され、多くの顧客から高い支持を得た結果だと捉えています。

Q 事業分野別の状況について説明してください。

A アジア市場の好調が横編機事業を牽引し、手袋靴下編機事業も大幅に伸張しました。

横編機事業を牽引したのはアジア地域です。販売台数を前年からさらに倍増させたバングラデシュを筆頭に、中国からの生産シフトが加速するASEAN諸国でも売上が拡大しました。また中国・香港市場でも、企画から小売りまで一貫して行うSPA（製造小売）型の衣料メーカーを中心に内需向けの設備投資が回復しました。

先進国市場では、ファッション産業の中心地であるイタリアで販売が増加したほか、米国でも自国生産の動きが高まり、ホールガーメント®横編機を含むコンピュータ横編機の売上が増加しました。国内市場においても、中国からの生産回帰の動きに政府の産業支援策なども加わり、ホールガーメント横編機を中心に販売を伸ばしました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」が堅調に出荷台数を伸ばし、特に国内ではニット業界以外の幅広い業種にも採用が広がりました。自動裁断機「P-CAM®」

も国内を中心に販売を拡大し、異業種分野への売上も増加しました。

また手袋靴下編機事業は、長年、韓国や中国などの低価格機の台頭で苦戦を強いられてきましたが、当期の売上が前年比2倍以上と大きく伸張しました。これは円安により価格差が縮小したなかで、安定性、耐久性、生産性、最終商品の品質といった当社製品の優位性が、あらためて評価された結果だと考えています。

Q 次期の市場展望と施策について説明してください。

A 「ホールガーメント20年」の節目の年。これから新たな成長ステージへ進めていきます。

次期（2016年3月期）も、世界各国・地域の市場特性に応じた積極的な提案活動を進め、すべての事業分野でさらなる成長を目指していきます。

戦略課題は、先進国市場におけるホールガーメント横編機の拡販です。今年11月にイタリアのミラノで開催される国際繊維機械見本市「ITMA 2015」に先駆け、この2月



に世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガーメント横編機の新製品「MACH2®XS」を発表しました。ホールガーメント横編機開発20年の記念すべき年に発表した「MACH2XS」は、今まで不可能とされてきた立体的なデザインの編成を可能にしたほか、生産性、安定性、操作性なども大幅に向上させ、発表以来、国内外の顧客から高い関心を集めています。ITMA展では「MACH2XS」と「SDS-ONE APEX3」との連携による無限の可能性を全世界の顧客にアピールし、ホールガーメント横編機を新たな成長ステージへと引き上げていきます。また、ホールガーメント横編機以外の機種やデザインシステム関連製品についても、各国・地域のニーズに応じた製品の提案活動をより強化し、拡販を目指します。

以上の取り組みに加え、当期計上した特別損失の内容を鑑み、リスク管理の強化を実施した上で、次期の連結業績は、売上高510億円、営業利益70億円、経常利益75億円、当期純利益50億円を計画しています。

Q 株主へのメッセージをお願いします。

A 製品開発を通して、全世界にイノベーションを起こしていきます。

当期の株主の皆様への配当金については、中間配当金15円、期末配当金17円50銭の合計32円50銭で実施いたしました。

新興国の経済発展を背景に、世界の衣料品の消費は増加を続けており、購買層も大きく広がってきています。生産



者側から見ると、市場ニーズへの迅速な対応や流通コストなどの点から「消費地型生産」がベストであることは間違いありません。当社のホールガーメント横編機は、製造過程において最も時間を要する縫製工程をなくすことで、デザイン面の優位性ととも生産合理化にも大きく寄与します。また、デザインシステムによるバーチャルシミュレーションは、商品企画プロセスのボトルネックであるサンプル作成時間を飛躍的に短縮し、コストも大幅に削減します。

そして、ホールガーメント横編機とデザインシステムの連携により、労働集約型である繊維産業を、消費地で生産することで付加価値を生み出せる“感性・情報産業”に転換していく必要があると考えています。「真のイノベーション」をもたらす革新的な製品・サービスを、世界のニット産業をはじめ、あらゆる産業に提案し続けていきます。

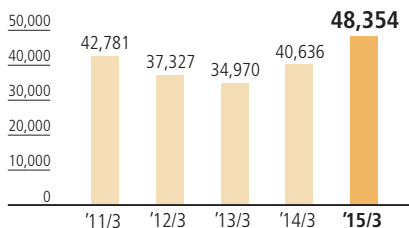
株主の皆様には、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)

科 目		当 期 2015年3月期	前 期 2014年3月期	前期比
売上高	(百万円)	48,354	40,636	19.0%
営業利益	(百万円)	5,745	2,731	110.3%
経常利益	(百万円)	8,470	7,352	15.2%
当期純利益	(百万円)	3,645	4,863	Δ 25.0%
1株当たり当期純利益	(円)	106.54	142.13	Δ 25.0%
総資産	(百万円)	126,987	119,727	6.1%
純資産	(百万円)	98,179	93,222	5.3%
ROE(自己資本当期純利益率)	(%)	3.8	5.4	Δ 29.6%

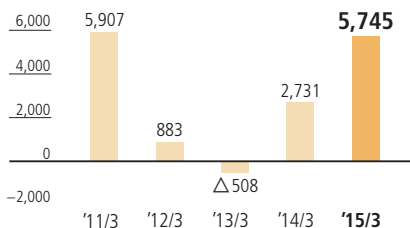
売上高

(百万円)



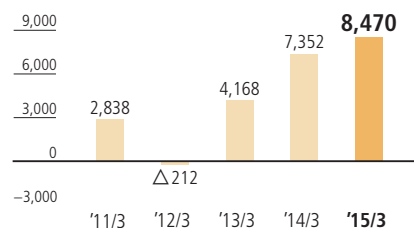
営業利益・損失(Δ)

(百万円)



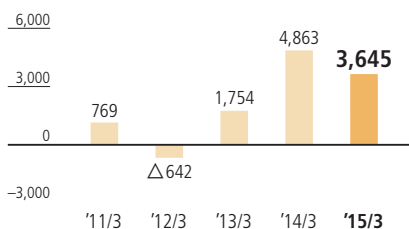
経常利益・損失(Δ)

(百万円)



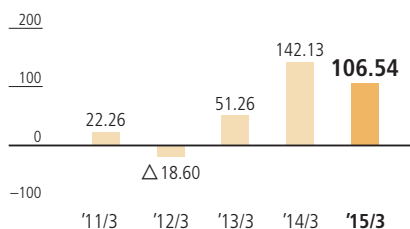
当期純利益・損失(Δ)

(百万円)



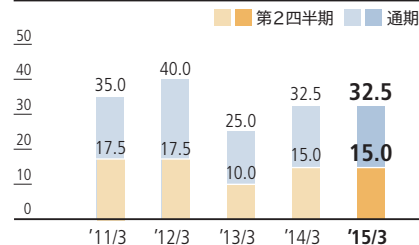
1株当たり当期純利益・損失(Δ)

(円)



1株当たり配当金

(円)

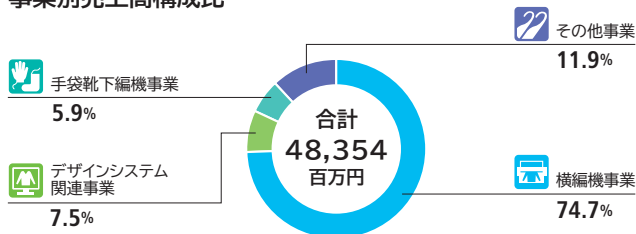


将来の見通しについて

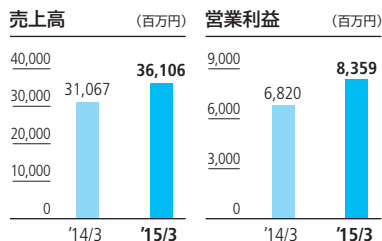
本報告書で記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これら予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

事業別のご報告(連結)

事業別売上高構成比



横編機事業

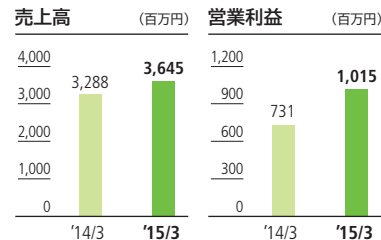


アジア地域では、欧米アパレルの生産拠点として設備投資が急増するバングラデシュでコストパフォーマンスに優れた「SSR®」を中心に販売台数を倍増させたほか、中国からの生産シフトが続くベトナム、カンボジア、タイなどでも売上が拡大しました。中国・香港市場も中間層の広がりを背景に内需向けの設備投資が回復し、「SSR」のほか上位機種「SVR®」の販売が増加しました。

欧州では、ファッション産業の中心地、イタリアの設備投資がようやく回復傾向を見せ、ホールガーメント®横編機や、織物のような編地が編成できる「SRY®」などで増加に転じたほか、衣料品の消費国として潜在ニーズの大きな米国でも販売が増加しました。

国内市場でも、中国からの生産回帰の動きに政府の産業支援策などが加わり、ホールガーメント横編機を中心に前年に続いて売上を伸ばしました。これらの結果、横編機事業の売上高は361億6百万円(前期比16.2%増)となりました。

デザインシステム関連事業

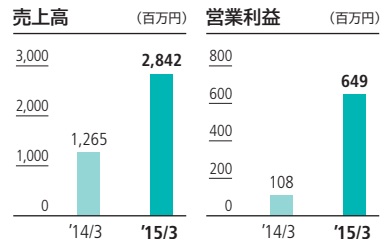


デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、アジア、欧州をはじめ

世界各地で販売を伸ばしました。特に国内市場では、ニット業界以外にもデザインツールとしての活用がさらに浸透しました。自動裁断機「P-CAM®」も国内市場を中心に販売を拡大し、異業種分野での導入も広がりました。これらの結果、売上高は36億45百万円(前期比10.8%増)となりました。

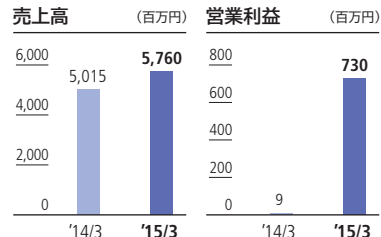
手袋靴下編機事業

市場の需要増加に加え、当社製品の優位性が国内外で見直され、売上高は28億42百万円(前期比124.7%増)と、2年連続の大幅な増加となりました。



その他事業

横編機の販売台数増加に伴い保守部品の販売が伸びたことなどから、売上高は57億60百万円(前期比14.9%増)となりました。



ホールガーメント

WHOLEGARMENT®

20年の到達点とこれから



横編機の最高峰「ホールガーメント®」は、
理想のニットウェアを追求しています

特長 **1** 「第2の肌」の着心地

縫い目部分のごわつき感がなく立体的に体にフィットするので、まるで第2の素肌のような着心地の良さがあります。



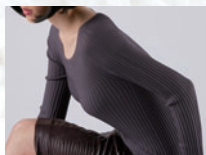
特長 **2** 美しいシルエット

縫い目部分の凹凸がなく、ニット本来の美しいドレープ感や高級感のあるシルエットが生まれます。



特長 **3** 優れたストレッチ性

ニットならではの伸縮性が縫い目部分で邪魔されことなく、体の動きに沿ってスムーズに伸び縮みします。



特長 **4** 環境にやさしい

一着丸ごと編み上げるため、カットロスや縫いしろが発生せず、原料を無駄なく活用できる環境にやさしい衣料です。



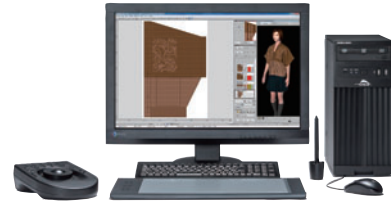
ホールガーメントは、シマセイキが独自に開発したホールガーメント横編機により、身頃・袖などのパーツを作ることなく一着丸ごと立体的に編み上げられた無縫製のニットウェアです。

ホールガーメントはデザインシステムとともに イノベーションを生み出していきます



2015

可動型シンカー装置により、さらに安定した生産を実現した「MACH2[®]XS」と、バーチャルシミュレーションがより高精細になった「SDS[®]-ONE APEX3」を融合させることで、繊維産業を“感性・情報産業”へと変革していきます。



NEW MACH2XS & SDS-ONE APEX3

2007

これまでのホールガーメント横編機の2倍以上の速度を実現



MACH2X

2012

3次元のシミュレーション機能が大幅に強化・高速化



SDS-ONE APEX3

1999

当社独自の4枚ベッド機構にスライドニードル[®]を搭載



SWG[®]-X

2007

ホールガーメントの立体表現が可能に



SDS-ONE APEX

1995

世界で初めて無縫製ニットの編成を実現



SWG-V

2000

生産プロセス全体をつなぐ「オールインワン」コンセプトのシステム



SDS-ONE

WHOLEGARMENT

Design System

お客様事例 ニットメーカー 株式会社イノウエ様

ホールガーメント®は、ニットメーカーや アパレルに多様な価値を提供しています

日本におけるホールガーメント生産のリーディングカンパニー株式会社イノウエ様に、ホールガーメント横編機が実現するメリットについて伺いました。

イノウエ様が評価するホールガーメントのメリット

メリット 1 お客様の要望に営業担当者が素早く対応できる
当社では、営業全員がデザインシステムを操作でき、実際に編んだサンプルで提案を行っています。縫製の不要なホールガーメントは素早いサンプルの提供が可能で、当社のこだわりを伝えることでお客様の満足度も高まります。

[企画・デザイン]



メリット 2 追加発注が可能。アパレル顧客の利益を向上できる
ニット製品には豊富な色展開が求められる一方、不人気色の在庫が問題です。しかし、必要な分を短期間で追加生産できるホールガーメントなら、アパレルのお客様は人気色の販売機会を逃さず、また在庫も抑えられ、利益向上につながります。

[製造]



メリット 3 軽くて着心地が良く、リピーターが増える
軽くて着心地が良く、型崩れしにくいホールガーメントは、一度着ていただいた消費者から「この前と同じものが欲しい」と指定してもらえます。ホールガーメントならではのシルエットも好評で、リピーターが増えています。

[販売]



株式会社イノウエ

群馬県太田市にある国内最大規模のホールガーメント製造専門メーカー。著名なブランドも多数手掛ける。本社には5,000着を超えるサンプルが展示され、多くのお客様が訪れている。

<http://knit-inoue.co.jp/>

世界に誇れるホールガーメントは 今後、着実に広がっていくでしょう

お客様のさまざまなご要望を ホールガーメントで実現しています。

ニットの産地である群馬県太田市で後発メーカーとして参入した当社は、「他社とは違うことをやらねば」という状況にありました。そこで「誰もやっていないことを仕事しよう」と、20年前にホールガーメント横編機を導入したのです。事業が軌道に乗るまでにはさまざまな問題があり、何度も壁にぶつかりながら、それを乗り越えて前進してきました。

当社は「常にお客様目線で考える」ということをモットーにしています。たとえ編機に適さない糸であっても、お客様が要望されているのなら、それに近付けるよう最大限の努力をします。長年の技術やノウハウの蓄積を活かし、お客様の要望を「ホールガーメントならどうできるか」と置き換えて、提案を行っています。

ホールガーメントの認知度が上がり、 市場が拡大することを期待しています。

新製品「MACH2[®]XS」の1号機を導入し

株式会社イノウエ
代表取締役社長

井上 隆 様



たのは、これまで課題であった編み方のバリエーションの広がりに加え、安定性のさらなる向上や機械の扱いやすさなどが理由です。例えば、ベーシックな商品をより安定して編めるため、定番商品の生産量を増やすことができます。また、夏用の糸は麻などの固い糸で清涼感を演出しますが、編成するには難しさがありました。それが「MACH2XS」ではとても編みやすくなっています。

この新製品が世界中に広がり、ホールガーメントの良さが認知されることで市場が拡大していくと考えています。シマセイキには、新たな日本のモノづくりのスタートとも言える新製品「MACH2XS」を、海外へもどんどん拡販していただけたらと期待しています。



ユーザーの声を活かしたホールガーメントを 全世界にアピールしていきます

今年11月、「繊維機械のオリンピック」と呼ばれる国際繊維機械見本市「ITMA 2015」がイタリアのミラノで開催されます。ITMA展に先駆けて、新製品のPR活動を積極的に行うだけでなく、当社はこれからもイノウエ様のようなユーザーの声に真摯に耳を傾け、ホールガーメントによるイノベーションを全世界にアピールしていきます。



「MACH2XS」出陣式

2015年3月期の取り組み

第54期

2014年

- 4月20日 C S R クラシックスポーツカーの祭典「ラ フェスタ プリマヴェラ 2014」に協賛 ①
 26日 放 映 日本テレビ系列「世界一受けたい授業」で当社紹介
- 5月 8日 放 映 朝日放送「ビーバップ!ハイヒール」で当社紹介(関西圏で放映)
- 6月16日 展示会 「ITMA ASIA+CITME 2014」に出展【中国】 ②
 20日 初出荷 自動裁断機「P-CAM®161JSS」を初出荷
 24日 出 荷 コンピュータ横編機15万台目を出荷 **TOPICS** →
 27日 組 織 第53回定時株主総会を開催
 29日 放 映 日本テレビ系列「スクール革命!」で当社紹介(関東圏で放映)
- 7月26日 放 映 BSジャパン「一柳良雄が問う 日本の未来」(5回シリーズ)で当社紹介
- 8月20日 初出荷 インクジェットプリンティングマシン「SIP-160F3L」を初出荷
- 9月16日 展示会 「プルミエール・ヴィジョン」に出展【フランス】 ③
 24日 放 映 毎日放送「VOICE」にて当社紹介(関西圏で放映)
 25日 展示会 「52nd FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展)」に出展
 28日 放 映 国際放送 NHK WORLD「J-TECH」で当社紹介
- 10月 7日 放 映 読売テレビ系列「朝生ワイド す・またん!+ZIP!」で当社紹介(関西圏で放映)
 22日 展示会 「TECH Biz EXPO 2014 (第4回次世代ものづくり基盤技術産業展)」に出展【愛知】
- 11月 3日 展示会 アメリカにて個展「Advanced 3D Knitting Seminar & Work Shop」を開催 **TOPICS** →
 8日 C S R 防災訓練を実施 ④
- 12月 2日 展示会 ジャパン・ベストニット・セレクション2014に協賛・出展【東京】



①



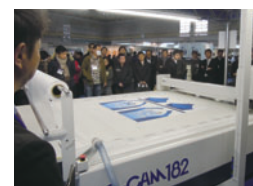
②



③



④



⑤

2015年

- 2月 4日 初出荷 ホールガーメント®横編機の新製品「MACH2®XS」を初出荷
 4日 展示会 「ダッカ・インターナショナル・テキスタイル&ガーメント・マシンリー展」に出展【バングラデシュ】
- 5日 展示会 世界最大級のスポーツ用品展示会「ISPO MUNICH 2015」に出展【ドイツ】
- 20日 展示会 「第48回大阪ミシンショー&ハンズフェスティバル」に出展 ⑤
- 3月26日 放 映 TBSテレビ60周年特別企画「ものづくり日本の奇跡」で当社紹介

第55期(予定)

- 11月12日 展示会 国際繊維機械見本市「ITMA 2015」に出展【イタリア】

TOPICS

コンピュータ横編機が出荷台数15万台を達成

2014年6月、当社のコンピュータ横編機が出荷台数15万台を達成しました。

当社は、1967年に世界初の全自動フルファッション衿編機「FAC」によって横編機事業を開始、1978年には他社との発想の違いを鮮明にしたコンピュータ制御横編機「SNC」を開発。そして1995年には、世界初となる完全無縫製型のコンピュータ横編機「SWG®」を発表し、その後も数々の技術開発を成し遂げてきました。

コンピュータ横編機の出荷台数が10万台を超えたのが2008年。それからわずか6年での15万台到達は、「最高機能の製品を経済的な価格でお届けする」というシマセイキスピリットが全世界のお客様に高く評価された証だと考えています。



1978

2014



コンピュータ横編機15万台目の出陣式

TOPICS

アメリカ西海岸で個展を開催 多くの引き合いを獲得できました

2014年11月、当社はロサンゼルスで5日間にわたり、個展「Advanced 3D Knitting Seminar & Work Shop」を開催しました。「モダン・ハイテク・ファッションナブル」をテーマにした本個展の狙いは、ニットメーカーが多く存在する西海岸での顧客開拓です。

会場には、数多くのアパレル企業やニットメーカーなどが来場。長い時間をかけて編機やサンプル、デザインシステムのデモンストレーションなどを見学され、多くの新規引き合いにつながったほか、子会社(株)SHIMAの新ブランド「NUONE(ヌワン)」(裏表紙コラム参照)にも高い評価を得ることができました。

今後も、潜在ニーズの大きな北米市場での提案活動を強化していきます。



●ロサンゼルス



デザインシステムによるデモンストレーション

多彩な製品バリエーションを効率的に実現できる インクジェットプリンティングマシン「SIPシリーズ」

多様な生地や製品に直接プリント

国内外のプリント加工業を中心に活用いただいている「SIPシリーズ」は、製版を必要としないピエゾ型インクジェット方式のプリンティングマシン。最新機種「SIP-160F3」では、広いフラットベッド(Lタイプ:2.4m×1.6m)に載るサイズなら形状を問わずフルカラープリントが可能です。インクは反応染料、酸性染料、顔料が使用でき、幅広い素材やユーザーのニーズに対応。新たに搭載した循環脱気装置により、インク内のエア除去の自動化を実現。配管内にはインク湿度を保つための温度調整装置も備えているため、より安定してプリントができるようになりました。さらに、最新のプリントヘッドの採用で生産効率を大きく高めています。

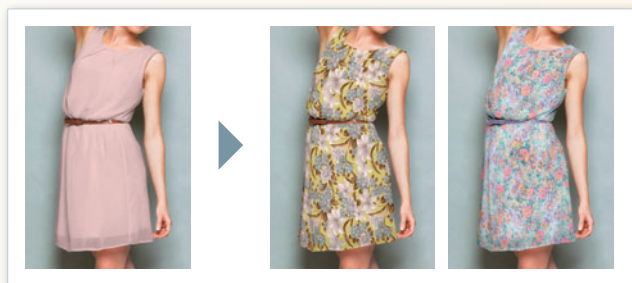


SIP-160F3

「トータルファッションシステム」の 強力なツールとして拡販

「SIP-160F3」はプリントヘッドの高さを最大50mmまで上げられる昇降式キャリッジの採用により、立体柄など凹凸感のある生地や完成品へのプリントも可能。ホールガーメント®製品にもそのままプリントができ「多品種・少量生産・クイックレスポンス」のオンデマンド生産に応えます。さらに、「SDS®-ONE APEX3」との連動によりプリント前のイメージ確認も簡単に行え、カラーマッチング時間を大幅に短縮。今後もニット業界はもちろん、Tシャツ、タオル、皮革など、さまざまな業界のプリントニーズを視野に入れ、拡販を図っていきます。

凹凸感のある生地にも
プリント可能



デザインシステムによるプリント合成イメージ

株主様アンケート集計結果のご報告

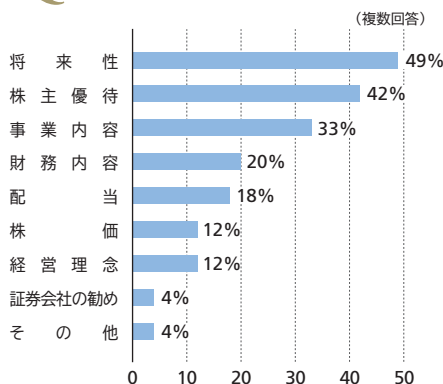
当社では株主の皆様の声をお聞かせいただくため、ハガキによるアンケートを定期的実施しています。昨年12月発行の第54期第2四半期「株主のみなさまへ」に同封したアンケートでは、全体の16%にあたる3,000名を超える

株主様からご回答をいただきました。

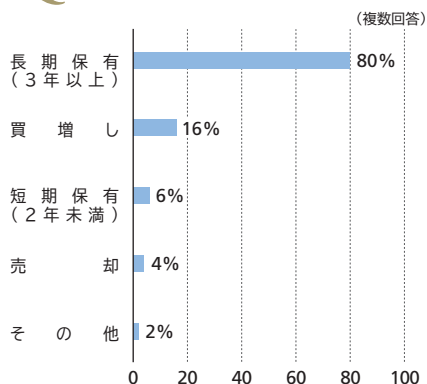
皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の事業活動やIR活動に活かしてまいります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

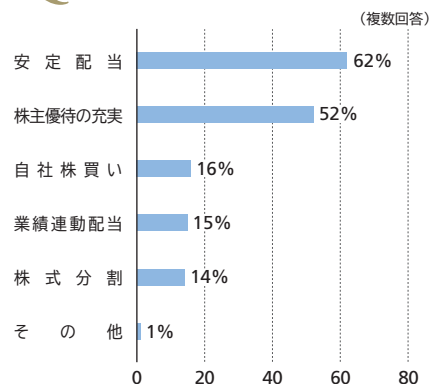
Q.1 当社の株式を購入された理由は何ですか？



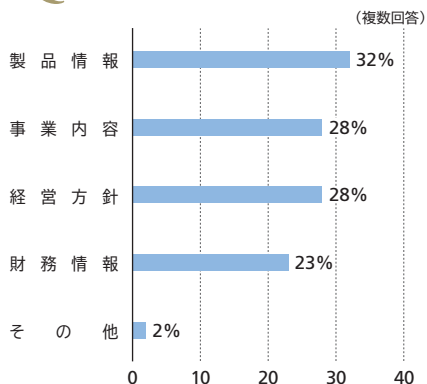
Q.2 当社の株式について今後どのようにお考えですか？



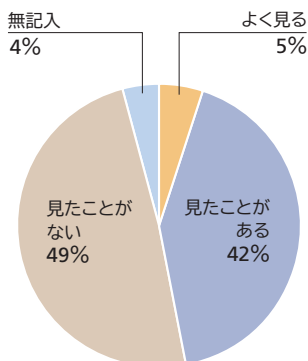
Q.3 株主還元に関して当社に期待されることは何ですか？



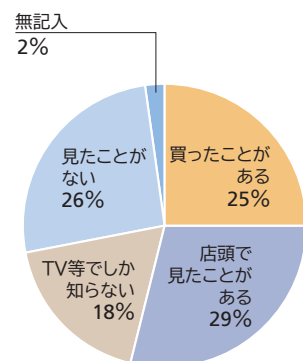
Q.4 当社について特に知りたい情報は何か？



Q.5 ホームページのIR情報をご覧になったことがありますか？



Q.6 当社の編織で作られるホールゲーム®について



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年3月31日現在	2014年3月31日現在
流動資産	88,104	80,297
現金及び預金	14,512	16,002
受取手形及び売掛金	52,578	42,964
その他	22,309	22,631
貸倒引当金	△ 1,295	△ 1,301
固定資産	38,882	39,430
有形固定資産	20,013	19,876
土地	10,891	10,879
その他	9,122	8,997
無形固定資産	5,157	4,852
のれん	5,040	4,762
その他	116	90
投資その他の資産	13,711	14,700
投資有価証券	7,735	8,417
その他	9,645	7,598
貸倒引当金	△ 3,668	△ 1,315
資産合計	126,987	119,727

POINT 1 資産合計

受取手形及び売掛金の増加により、前期末に比べ72億60百万円増加しました。

POINT 2 負債合計

支払手形及び買掛金の増加により、前期末に比べ23億2百万円増加しました。

POINT 3 純資産合計

当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことと、円安による為替換算調整勘定が増加したことにより、前期末に比べ49億57百万円増加しました。

科 目	当 期	前 期
	2015年3月31日現在	2014年3月31日現在
流動負債	20,050	18,514
支払手形及び買掛金	6,384	4,290
短期借入金	6,250	6,695
その他	7,415	7,528
固定負債	8,756	7,989
長期借入金	5,000	5,000
その他	3,756	2,989
負債合計	28,807	26,504
株主資本	102,653	100,837
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	72,975	71,158
自己株式	△ 6,906	△ 6,904
その他の包括利益累計額	△ 4,668	△ 7,808
その他有価証券評価差額金	835	328
土地再評価差額金	△ 7,004	△ 7,350
為替換算調整勘定	1,311	△ 1,138
退職給付に係る調整累計額	188	351
新株予約権	180	180
少数株主持分	14	13
純資産合計	98,179	93,222
負債純資産合計	126,987	119,727

POINT 4 売上高

主力の横編機事業の売上がアジア市場を中心に拡大しました。また、デザインシステム事業ではアパレル分野以外にも販売が伸びたことや、手袋靴下編機事業でも大幅に売上が回復するなど、その他事業も含め、すべての事業セグメントで前期に比べ売上が拡大しました。その結果、売上高は前期比19.0%増となりました。

POINT 5 営業利益

販売台数の増加に加えて、為替レートの好転に伴う円換算販売価格の向上や増産効果などにより、営業利益は57億45百万円となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
4 売上高	48,354	40,636
売上原価	26,488	23,367
売上総利益	21,865	17,269
販売費及び一般管理費	16,120	14,537
5 営業利益	5,745	2,731
営業外収益	3,333	5,000
営業外費用	607	379
6 経常利益	8,470	7,352
特別利益	97	—
特別損失	1,562	122
税金等調整前当期純利益	7,006	7,230
法人税、住民税及び事業税	2,926	2,427
法人税等調整額	432	△ 61
少数株主利益	0	0
7 当期純利益	3,645	4,863

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
8 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,956	△ 2,401
9 投資活動による キャッシュ・フロー	2,287	△ 366
10 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,966	△ 1,596
現金及び現金同等物に 係る換算差額	980	1,536
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 655	△ 2,828
現金及び現金同等物の 期首残高	13,819	16,648
現金及び現金同等物の 期末残高	13,164	13,819

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	少数 株主持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整差額	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計				
2014年4月1日残高	14,859	21,724	71,158	△ 6,904	100,837	328	△ 7,350	△ 1,138	351	△ 7,808	180	13	93,222	
会計方針の変更による 累積的影響額			△ 372		△ 372									△ 372
会計方針の変更を反映した 当期首残高	14,859	21,724	70,785	△ 6,904	100,465	328	△ 7,350	△ 1,138	351	△ 7,808	180	13	92,850	
連結会計年度中の変動額														
剰余金の配当			△ 1,112		△ 1,112									△ 1,112
当期純利益			3,645		3,645									3,645
自己株式の取得				△ 2	△ 2									△ 2
土地再評価差額金の取崩			△ 343		△ 343									△ 343
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						506	346	2,450	△ 162	3,140	—	1	3,141	
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,189	△ 2	2,187	506	346	2,450	△ 162	3,140	—	1	5,329	
2015年3月31日残高	14,859	21,724	72,975	△ 6,906	102,653	835	△ 7,004	1,311	188	△ 4,668	180	14	98,179	

POINT 6 経常利益

営業外で為替差益25億円を計上したことなどにより、経常利益は84億70百万円となりました。

POINT 7 当期純利益

インドネシア顧客に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は36億45百万円となりました。

POINT 8 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加などにより、19億56百万円の資金の減少となりました。

POINT 9 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出などがありましたが、定期預金の払戻や投資有価証券の売却による収入などにより、22億87百万円の資金の増加となりました。

POINT 10 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払やファイナンス・リース債務返済による支出などにより、19億66百万円の資金の減少となりました。

会社概要

会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,218名(連結1,766名)
事業内容	コンピュータ横編機 コンピュータデザインシステム 自動裁断機 手袋靴下編機



本社ビル

事業所 (2015年3月31日現在)

支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

役員 (2015年6月26日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	営業本部副本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ代表取締役&CEO
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	公認会計士・税理士
監査役	野村 祥子	弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄氏は、社外取締役であります。

2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

連結子会社 (2015年3月31日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島精榮貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)
SHIMA SEIKI KOREA INC.	(韓国)

株式概要

株式の状況 (2015年3月31日現在)

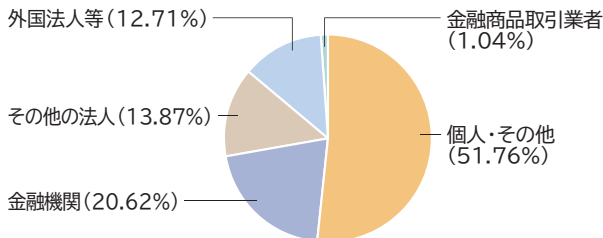
- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③株主数…………… 16,903名
- ④大株主

(千株未満切り捨て)

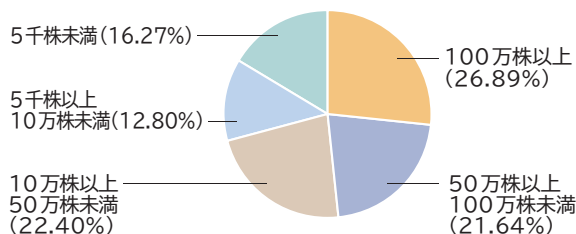
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	2,870	8.39
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
エヌケイ興産株式会社	1,150	3.36
島 正 博	1,070	3.13
島 三 博	1,061	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	714	2.09
株式会社池田泉州銀行	700	2.05
後藤ひろみ	697	2.04

(注)当社は、自己株式2,381千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

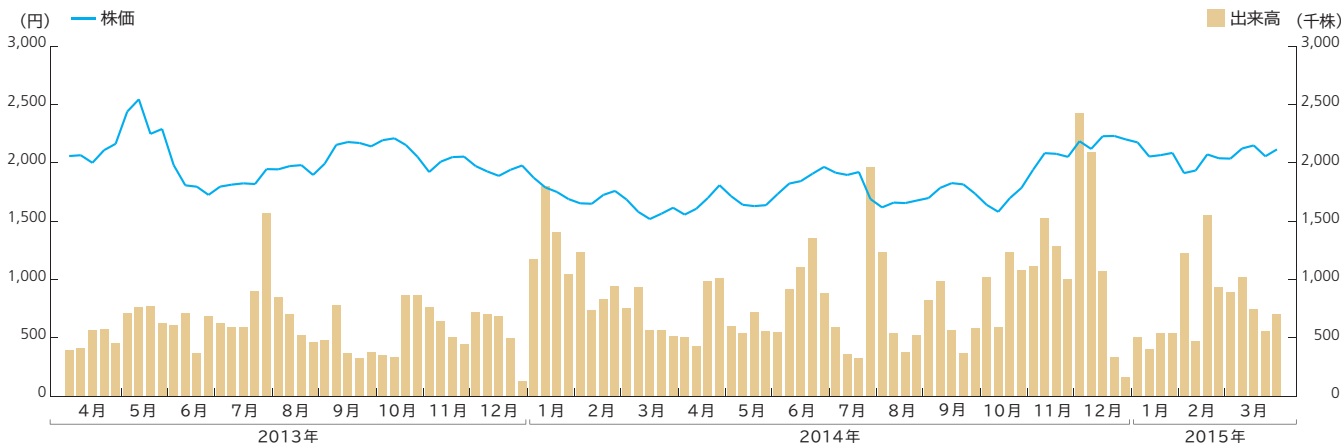
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	基準日	3月31日	
	開催日	毎年6月	
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
公告方法	電子公告		
	下記当社ホームページに掲載 (http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

TEL(073)471-0511(代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、MACH2、SWG、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、スライドニードル、トータルファッションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

ホールガーメント® 製品のブランド “NUONE”を発表しました。

NUONE
MADE IN WAKAYAMA JAPAN

ホールガーメントならではの 美しいシルエットと着心地の良さ

2014年10月、当社の子会社(株)SHIMAは新ブランド「NUONE(ヌワン)」を発表しました。下着以上・外衣未満という新しいコンセプトで開発された「NUONE」は、ホールガーメントの特徴である立体的な編成によって、従来の肌着にはない自由なフィット感と美しいシルエットを実現しています。

百貨店、専門店、通販など 幅広いチャネルへ販路を拡大

「NUONE」の商品ラインアップとして、素材にカシミアの保温性とシルクの通気性・吸湿性を兼ね備えた「カシミアシルク」や、世界最高級の幻のコットン「海島綿(シーアイランドコットン)」を使用した製品などを発売。極上の着心地と柔らかな肌触りが魅力です。すでに大手百貨店やセレクトショップのほか、通信販売にも販路を広げ、ホールガーメント普及への足掛かりとなっています。

オンラインショップ
<http://www.wholegarment.jp/>



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。